

鬼怒川防災と河内・上河内地区のあゆみ

～地形・歴史からみた鬼怒川の素顔～

平成 28 年 9 月 3 日 (土)
河内地区自治センター
城山東小学校 大塚雅之

1. 平成 27 年 9 月関東・東北豪雨（常総水害）

・ 9 月 9 日～9 月 11 日：日本海を北東に進む台風 18 号から変化した温帯低気圧に太平洋上から湿った暖かい空気が流れ込み、さらに後続して接近していた台風 17 号から吹き込む湿った風とぶつかったことで線状降水帯が発生した。その結果、関東地方北部から東北地方南部に 24 時間雨量が 300 ミリ以上の豪雨とそれに伴う大規模な被害をもたらした。

・ 9/10 昼頃より筑西市、下妻市、常総市 7 か所で溢水。

同日 12:50 常総市で鬼怒川堤防決壊。

浸水範囲：面積約 40 km²（河内地区とほぼ同じ） 東西約 4 km 南北約 18 km。

・ 日光市五十里で 551.0 ミリ（最多） 大雨特別警報（栃木県初）の発令

死者： 8 名 建物等 全壊： 75 棟 床上浸水：3,147 棟

負傷者：79 名 半壊：3,851 棟 床下浸水：8,998 棟

被害総額：3,850 億円（参考：宇都宮市の H28 当初予算 2,053 億円）

（内訳：茨城県約1,560億円、栃木県660億円 宮城県330億円）（H28. 7. 11暫定値）

〔栃木県の被害 家屋全壊 22棟 半壊83棟 床上浸水1,100棟 床下浸水3,938棟
人的被害：死亡3人（栃木市 1 人、鹿沼市 1 人、日光市 1 人）〕

災害救助法適用：栃木県では栃木市、佐野市、鹿沼市、日光市、小山市、下野市、壬生町、野木町その他茨城県・宮城県の一部市町村

2. 鬼怒川ってどんな川？

利根川に合流する一級河川（利根川水系） 全長 176.7km で、利根川の支流の中で最長

1 位 信濃川 367 km, 2 位 利根川 322 km, 15 位・・・荒川 173 km（国交省統計の河川長は源流から河口まで）
（世界 1 位はナイル川 6,650 km）

◇鬼怒川の名称

古代 『毛野』（けの・けぬ）（栃木・群馬両域の古名）を流れる川として「毛野川」（毛野河）

中世から近世 「衣川」（衣河）や「絹川」（絹河）明治初期から「鬼怒川」と言われる。が・・・

「鬼怒」の文字は中世文書にすでに見られる。しかし川の名前かどうかは不明。「鬼奴川」とも

『常陸国風土記』（721）：「毛野河」は筑波西部の郡の境界（古鬼怒川？）

『続日本紀』（9C 初）：毛野川は古くから常陸国と下総国の境界

『上野名跡志』（M18）：下野国河内郡衣川郷が毛野という国名の由来という記載もある

◇鬼怒川の歴史

約 3 万年前 氏家押上・高根沢・桜川（真壁）・霞ヶ浦（西浦）が流路

約 2 万年前 高根沢・芳賀・五行川・小貝川・竜ヶ崎・常陸川（現利根川）が流路

約 6,000 年前 縄文時代前期：縄文海進 下館付近まで海 牛久付近が古鬼怒湾河口

約 1,000 年前 平安時代頃 香取海（霞ヶ浦に続く内海）の西端、榎浦に鬼怒川が注ぐ

榎浦（上総台地～猿島台地）が現在の茨城県と千葉県を分ける。⇒利根川流路と鬼怒川流路の分水嶺

◎江戸時代以前は、香取海へ注ぐ独立した鬼怒川水系を形成

⇒猿島台地により、利根川は銚子方面には流れることができず、東京湾に注いでいた。



- ・利根川河口を東京湾から銚子へ ⇒ 猿島台地の掘削
- ・鬼怒川と小貝川の分離

- ①新田開発
- ②河川運輸
- ③水害防止（過去の定説）
- ▼④防御線の構築

